

たくさん自然の中で

泉谷 夕音

私は去年の夏休みに、奄美大島に行って、マングローブに囲まれた川で、カヌーをしました。最初にカヌーのこぎ方を教えてもらって、その後、実際に川に入ってこいでみました。思ったよりも上手にこげて、自然とふれ合いながらこぐのがとても気持ち良かったです。そこで、ガイドの人がマングローブの自然について教えてくれました。

そもそもマングローブというのは、その植物自体の名前ではなく、川の河口にある森林のことです。河口なので、淡水と塩分が入りまじってできていて、普通の植物は生きていきません。そこで、マングローブに住んでいる植物たちは、様々な工夫をしているそうです。例えば、根に塩分が流れこむのを防いで、真水だけを吸い上げ、る過をしえます。他にも、体に入ってきたしまった塩分を葉にためて、その葉を落として塩分を体から出す



方法もあるそうです。そんな工夫を聞いて、私は植物がたくましく生きていることに感動しました。もっと色々な植物や、動物についても調べてみたいと思いました。

そして、ガイドさんの話が終わってから、写真撮影をしました。緑がいっぱいのマングローブを背景に、家族みんなで笑顔でしました。その後、来た道のりをカヌーでもどりました。マングローブは南に多いので、なかなか行くことが出来ませんが、カヌーもこげて、自然も見れて、とても楽しかったです。